

観察・参加実習における「私」～教育実習ルーブリックをもとに～

学籍番号 () コース (学習臨床)

実習校名 (付属 小学校) 氏名 (東海 歩)

★ まずは、「教育実習ルーブリック」を見て、現在の「私」がいる段階に○印を付けよう！！

初等教育実習－観察・参加実習－前の「教職と私」

- 「教育実習ルーブリック」の“FIRST STAGE”で、今の「私」が不十分だと思う番号（複数可）と、それについての今の「私」の状態や思いを具体的に書こう。

番号	
3	まだ自習生だから授業作りがうまくなくてもいいとは聞いたが逆にプレッシャーで不安である。また、こんな自分でも板書したり、子どもたちの発問に対して答えることができるか不安である。考えれば考える程、不安が生じるから、将来教師になるため一つ一つを解決し、できればそういった能力も身に付けたい。積極的に自習に臨み、担当教員から学べることや盗めるところを見付け、身に付けたい。授業作りや、板書や応答等に関しては、本当に無知だが、これから、ゼミの先生や教科の先生を訪問し努力していこうと思う。
18~21	
25	
29~34	

- 「教育実習ルーブリック」の項目で、今の「私」が興味関心、意欲をもって観察・参加実習に臨もうとする番号（複数可）と、それに対する今の「私」の願いや自己目標などを書こう。

番号	
18	日々の授業で、教員が教材研究を熱心に行っているため、今でも自分の記憶に残っている授業がある。自分も児童の記憶に残るような授業を作りたいので、教材研究について担当教員から何か学べたらと思う。その記憶に残る授業作りのため、どのような教材・教具が適している準備すればよいのかも知りたい。また、児童からの発問により授業も進むので、聞き逃がさずに、どのように答えるのかも観察や本実習で盗みたい。
22	
28	
29	
30	
31	

観察・参加実習の1週間、私の教職に対する意識に影響を与えたこと

観察・参加実習が経過

- 「教育実習ループリック」の項目を挙げて、詳しく書こう。

番号

19
18
20
22
21

(例：指導教官の示範授業、〇〇な子どもの姿、仲間との協議、
〇〇活動参加など)

子どもたちの何にでも元気よく取り組む姿が
とても印象的だった。その子どもたちに合った教材
授業形態を考えることが大切だと思った。
子どもたちの特徴をつかみ、それを授業に活かす
ことで、子どもたちも取り組みやすくなるし、積極
的に授業に参加できるようになる。

初等教育実習－観察・参加実習－後の「教職と私」

- 「教育実習ループリック」の項目で、研究期間に入る「今の私」の課題とする番号（複数可）と、それについての自己目標や取り組むことなどを書こう。

番号

7
18
20
22
26
27
28

・児童からたくさん学んだことを活かし授業を行っていきたい。
・自分なりの指導案を作りたい。自分らしい物。ねらいもしっか
りと伝え、それに即した発問したい。
・多くの子が授業に参加できるように指名したい。
・子どもたちの発言を大切にして、絶対に聞き流さずに行ってい
きたい。

★ 6月11日（水）4・5限「教育実地研究Ⅱ」に、「教職キャリアファイル」ごと必ず持参する。
その場で、裏面を書いて提出する。

教育実習ルーブリック(案)

項目	中項目	視点	first stage	second stage	third stage	
I 教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項	1 使命感や責任感	△	1	教育実習における自己課題を見出し、実習場面ごとに学ぶ視点を明確にしようとする。	教育実習における自己課題を問い直したり、新たな課題を見出したりする。	教育実習における自己課題を問い直したり、新たな課題を見出したり、常に学び続けようとする姿勢をもつ。
	1 使命感や責任感	○	2	自発的・積極的に、教育実習に参加しようとする。	自発的・積極的に、教育実習における自己の職責を果たそうとする。	自発的・積極的に、教育実習における自己の職責を果たすことができる。
	1 使命感や責任感	X	3	教育実習期間中、直面することが予想される教育課題に対して、基礎的な知識をもつ。	教育実習期間中、日々生起する教育課題に対して、常に謙虚に学ぶ姿勢をもつ。	教育実習期間中、日々生起する教育課題に対して、常に謙虚に学ぶ姿勢をもち、その解決の見通しをもつ。
	1 使命感や責任感	△	4	社会状況や時代の変化に伴って生じている新たな課題や児童の変化について、学ぶ姿勢をもつ。	社会状況や時代の変化に伴って生じている新たな課題や児童の変化について、その要因を学ぶ姿勢がある。	社会状況や時代の変化に伴って生じている新たな課題や児童の変化について、その要因と対応策について学ぶ姿勢がある。
	1 使命感や責任感	△	5	教育実習にかかわる法令等を理解し、日々の教育活動で実践しようとする。	教育実習にかかわる法令等を理解し、日々の教育活動で実践できる。	教育実習にかかわる法令等を理解・遵守し、日々の教育活動において的確に実践できる。
	2 教育的愛情	△	6	環境を整備し、児童の安全に配慮しようとする。	教具や環境を整備し、児童の安全、健康に配慮している。	常に教具や環境を整備し、児童の安全、健康に配慮している。
	2 教育的愛情	○	7	児童から学び、共に成長しようとする意識をもっている。	児童から学び、共に成長しようとする意識をもち、実践しようとする。	児童から学び、共に成長しようとする意識をもち、実践できる。
II 教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項	1 社会性	△	8	服装や髪型など身だしなみを整えている。	身だしなみを整え、時と場に応じた言動に努めている。	身だしなみを整え、時と場に応じた言動ができる。
	1 社会性	○	9	時間・期日の厳守、教職員への接し方などの基本を実践しようとする。	時間・期日の厳守、教職員への接し方などの基本がほぼ身に付いている。	時間・期日の厳守、教職員への接し方などの基本が十分に身に付いている。
	2 対人関係能力	○	10	指導教員や他の教職員、実習生からの指導・助言を真摯に受け止め、教育活動に生かそうとする。	指導教員や他の教職員、実習生からの指導・助言を真摯に受け止め、教育活動に生かすことができる。	指導教員や他の教職員、実習生からの指導・助言を真摯に受け止め、主体的に考察して、教育活動に適切に生かすことができる。
	2 対人関係能力	○	11	ひとりよがりにならずに、実習しようとする。	ひとりよがりにならず、協調性をもって実習している。	ひとりよがりにならず、協調性や柔軟性をもって、教育活動を推進できる。
III 教員として求められる幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項	1 子ども理解	○	12	児童と顔を合わせたり、話を聞いたりするなど、親しみをもった態度で接しようとする。	気軽に児童と顔を合わせたり、話を聞いたりするなど、親しみをもった態度で接している。	気軽にどの児童とも顔を合わせたり、話を聞いたりするなど、親しみをもった態度で接することができる。
	1 子ども理解	○	13	児童の健康状態や性格を理解し、公平かつ受容的な態度で接しようとする。	児童の健康状態や性格を理解し、公平かつ受容的な態度で接することができる。	児童の声に耳を傾け、児童の健康状態や性格を理解し、公平かつ受容的な態度で接することができる。
	1 子ども理解	○	14	課外活動にも参加し、児童理解に努めようとする。	課外活動にも参加し、児童理解に努めている。	課外活動にも積極的に参加し、児童理解を深めている。
	2 学級経営	△	15	朝の会、帰りの会を適切に運営しようとする。	学級経営方針に基づいた朝の会、帰りの会を適切に運営できる。	児童との間に信頼関係を築き、学級経営方針に基づいた朝の会、帰りの会を適切に運営できる。
	2 学級経営	△	16	給食指導開始時刻に遅れることなく、給食指導に励もうとする。	給食指導開始時刻を守り、率先して給食指導をしている。	学級経営方針に基づいて、給食指導を適切にできる。
	2 学級経営	○	17	清掃開始時刻に遅れることなく、清掃指導に励もうとする。	清掃開始時刻を守り、率先して清掃指導をしている。	学級経営方針に基づいて、清掃指導を適切にできる。
IV 教員として求められる教科等の指導力に関する事項	1 構想	教材研究	X	学習指導要領や教科書、指導書等を利用して教材研究を行っている。	学習指導要領や教科書、指導書、その他参考書等を利用して、教材研究を行っている。	学習指導要領や教科書、その他参考書等を利用し、調査や練習等をして教材研究を行っている。
	1 構想	学習指導案	X	形式に従って、学習指導案を作成している。	教材研究の成果を活用して、学習指導案を作成している。	教材研究の成果を活用して、主張のある学習指導案を作成している。
	1 構想	ねらい	X	本時のねらいをもって授業に臨んでいる。	単元の指導計画に基づき、本時のねらいをもって授業に臨んでいる。	単元の指導計画や前時までの評価に基づき、本時のねらいを再構成して授業に臨んでいる。
	1 構想	評価規準	X	評価規準をもって授業に臨んでいる。	単元の指導計画やねらいに基づき、評価規準や評価方法を設定して授業に臨んでいる。	単元の指導計画やねらいに基づき、評価規準や評価方法を明確にして授業に臨んでいる。

1 構想	教材 教具	22	教材・教具(実物・絵・写真・図・表・ワークシート等)を準備している。	教材・教具(実物・絵・写真・図・表・ワークシート等)やコンピュータ等の情報機器を、予め実際に試して準備している。	教材・教具(実物・絵・写真・図・表・ワークシート等)やコンピュータ等の情報機器を準備し、授業で効果的に活用している。
2 展開	姿勢 視線	23	児童の前に姿勢良く立ち、下を向かずに話をする事ができる。	児童の前に姿勢良く立ち、児童に視線を合わせて話をする事ができる。	児童の前に姿勢良く立ち、教室の隅々まで視線を送り、児童の反応を見ながら話をする事ができる。
2 展開	音声 表情	24	全体に伝わる声の大きさや速さで話することができる。	声の大きさや速さ、抑揚などを工夫したり、表情を意識したりして話することができる。	話す内容に応じて、話し方を使い分けながら、表情豊かに話することができる。
2 展開	指示 助言	25	分かりやすい言葉で、指示・助言しようとする。	児童の反応を見ながら、適切な言葉で指示・助言している。	児童の理解度やつまづきをとらえ、タイミングを判断しながら、適切な言葉で指示・助言することができる。
2 展開	発問	26	授業のねらいに即した課題をもとに、発問しようとする。	授業のねらいに即した課題に基づいて、確認や思考を促す問いを区別しながら発問している。	授業のねらいや展開に即した課題に基づいて、発問を使い分けすることができる。
2 展開	指名	27	多くの児童が発言できるように、指名しようとする。	考えを等しく問う場合、特定の見方や立場に立った考えを問う場合など、目的に応じて意図的な指名をしている。	個の発言と、それに対する反応やつぶやきをとらえながら、適切な指名をすることができる。
2 展開	応答	28	発言を聞き流さず、あいづち・うなずき等の受け止めをしようとする。	発言を受け止めたり、整理したりしている。	発言を受け止めたり、質問に的確に答えたりしながら、発言を整理することができる。
2 展開	板書	29	文字の筆順や既習漢字を意識しながら、丁寧に板書しようとする。	記号化や色の使い分けなどを工夫して、分かりやすい板書表現をしている。	板書計画を立て、授業の流れが、児童に読み取れる板書構造を工夫している。
2 展開	方法	30	中心となる指導方法をもって、授業に臨もうとする。	授業のねらいに基づき、児童の学習意欲を喚起する指導方法で授業している。	授業のねらいに基づいた学習方法を用いて、児童の学習意欲や思考を促す授業をすることができる。
2 展開	形態	31	授業の展開計画に基づいて、学習形態(一斉・グループ・個別)に配慮しようとする。	授業のねらいや展開計画と関係づけながら、学習形態(一斉・グループ・個別)を工夫している。	授業のねらいや展開に応じて、効果的な学習形態(一斉・グループ・個別)を選択することができる。
3 評価	机間 巡視	32	授業中、適宜机間巡視している。	授業中、どのような学習状況を把握するか、目的をもって机間巡視することができる。	学習状況を把握し、授業展開に役立てたり、適切な支援をしたりしながら机間巡視することができる。
3 評価	授業 展開	33	導入・展開・終末の時間配分を考慮しながら、授業を展開しようとする。	予想外の反応に対して、予定変更の必要性を意識しながら授業を展開している。	予想外の反応に対して、授業のねらいとの関係から、戻る・立ち止まる・進む等の授業展開を判断することができる。
3 評価	授業 評価	34	評価規準に基づいて、児童の学習を評価しようとする。	評価規準や評価方法に基づいて、ねらいの達成度を把握している。	評価規準や評価方法に基づいて、ねらいの達成度や成果と課題を把握することができる。